

情報処理技法 (マルチメディアと表現)2

第4回 編集のテクニック

人間科学科コミュニケーション専攻
白銀 純子

第4回の内容

- 編集のテクニック: iMovie
- 作品の公開方法

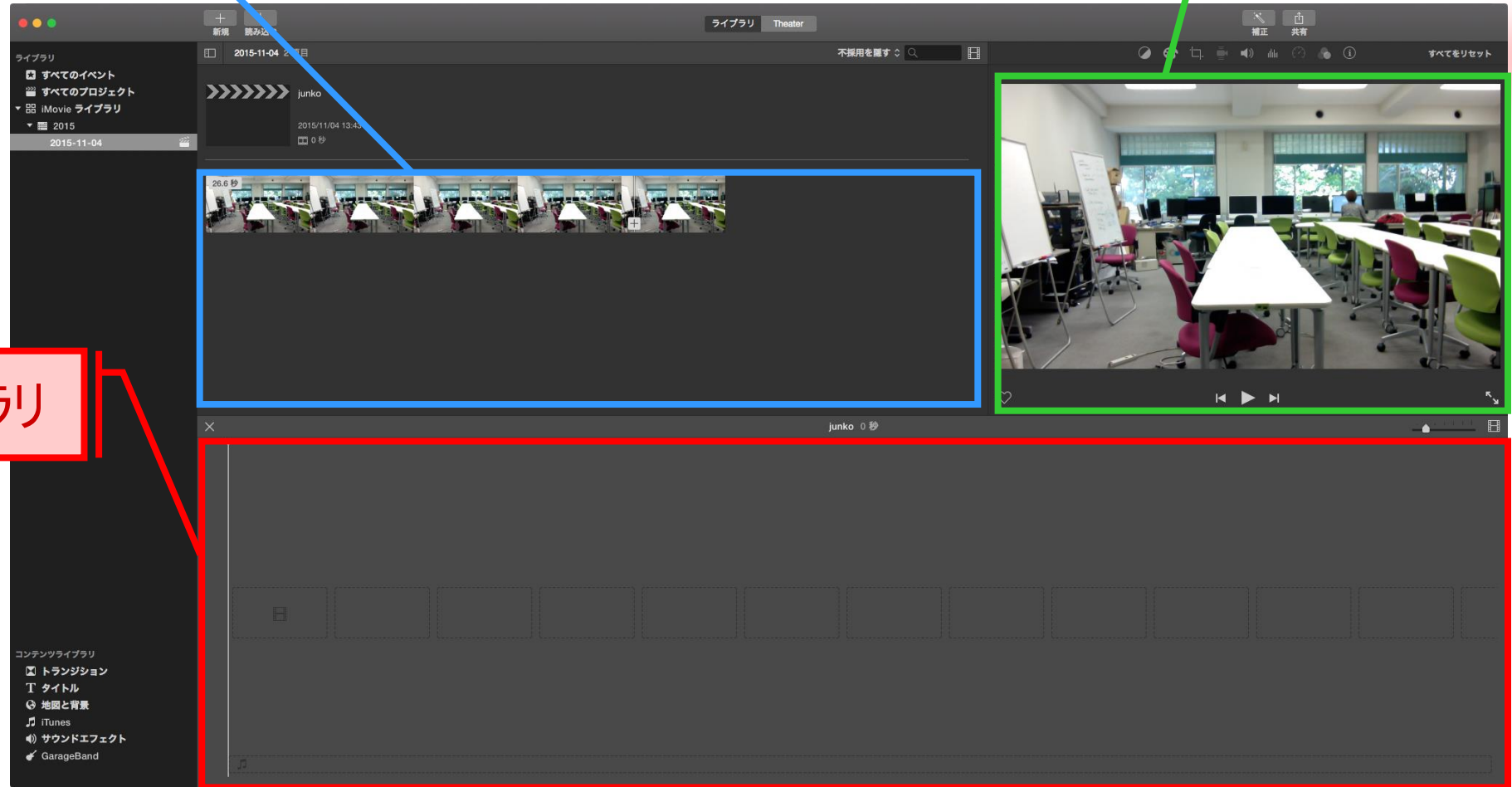
iMovieでの編集の基本

iMovieの画面(1)

ソース

プレビュー

プロジェクトライブラリ



iMovieの画面(2)

○プロジェクトライブラリ

- 実際の編集作業をする領域
- ソースから素材を追加して作業
- 右上のスライダーを使って、表示される素材の細かさを決定

○ソース

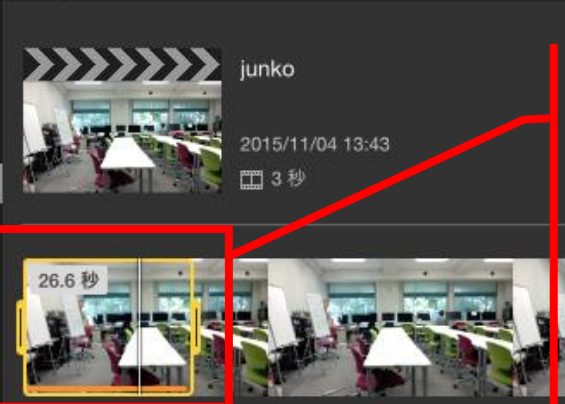
- ビデオカメラから取り込んだ素材がすべて表示される領域

○プレビュー

- 編集した内容を確認できる領域

素材をプロジェクトライブラリに追加

- 素材を取り込んだだけでは、ソースの領域に素材が表示されているだけ
- ソースから必要な部分を選択し、プロジェクトライブラリに追加



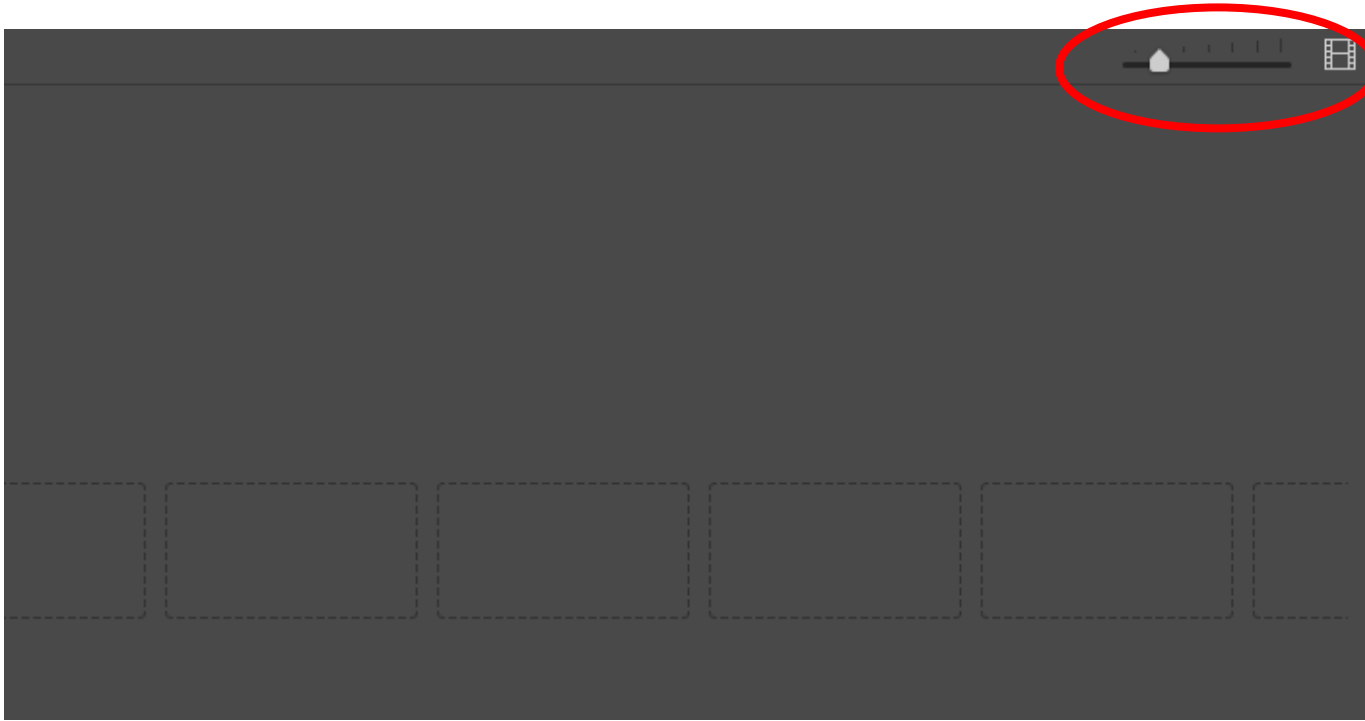
The screenshot shows a video player with a dark background. At the top left, there is a small thumbnail of the video content, labeled 'junko' and '2015/11/04 13:43' with a '3 秒' (3 seconds) duration. Below this, a larger video frame shows a room with several tables and chairs. A red rectangular box highlights a portion of this video frame, with a timestamp '26.6 秒' (26.6 seconds) visible. A red arrow points from this highlighted area towards a list of instructions on the right.

- ソースの領域で、素材を選択すると、黄色い枠が表示される
- 黄色い枠の部分をプロジェクトライブラリの、追加したい場所に向けてドラッグする
- 追加したい場所に枠線が表示されたら、マウスのボタンを離す

プロジェクトライブラリの素材の表示量の調整

- 右上のスライダを左右に移動

- ソースに表示される1枚1枚のサムネイルを、どの程度詳細に表示するかを調整可能



クリップのトリミング

- ライブラリに追加したクリップの不要な部分をカット
 - クリップ上でマウスを長押し
 - 黄色い枠線が表示される
 - 黄色い枠線をドラッグして、不要な部分を選択
 - メニューバーの「編集」→「削除」

クリップ: プロジェクトライブラリに表示されている1つ1つの項目

色調・手ぶれ補正・雰囲気調整

○クリップを選択

○色調の調整

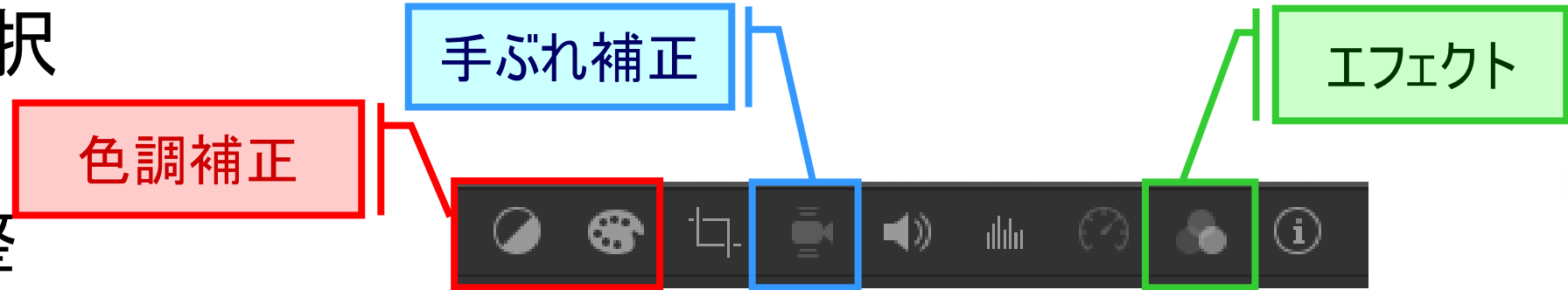
- プレビューの上の色調調整のボタンをクリック
- 下に表示される設定項目で調整

○手ぶれ補正

- プレビューの上の手ぶれ補正のボタンをクリック
- 下に表示される設定項目で調整

○雰囲気調整

- プレビューの上のエフェクトのボタンをクリック
- 表示される一覧から、適用したい雰囲気を選択

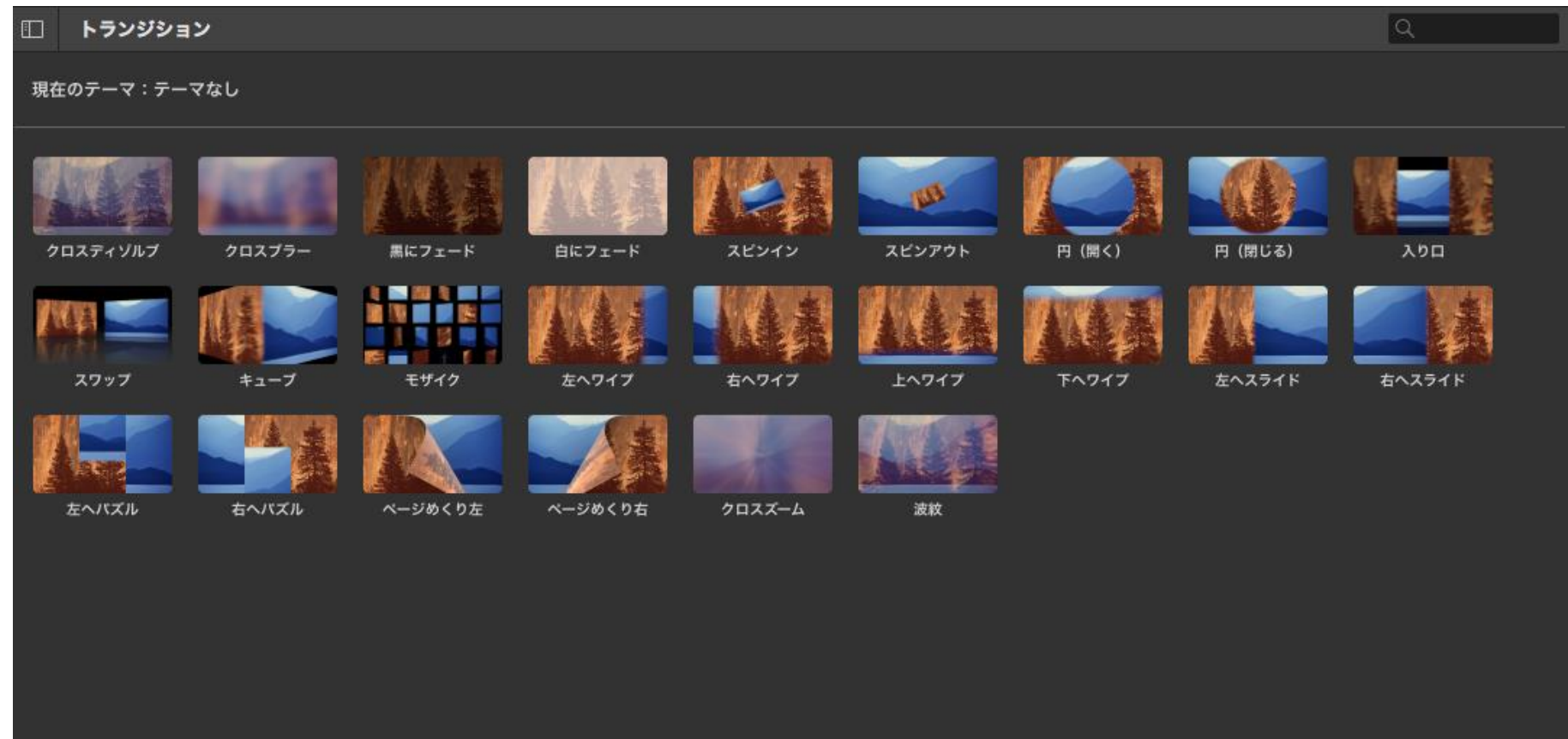


早さの調整

- クリップを選択
- メニューバーの「変更」→早さ調整の方法を選択
 - スローモーション
 - 早送り
 - インスタントリプレイ
 - 巻き戻し
- 早さを選択

場面切り替えの設定(I)

- メニューバーの「ウィンドウ」→「トランジション」を選択
 - ソースの領域にトランジションの種類の一覧が表示
- トランジションをドラッグして、プロジェクトライブラリ中の切り替え場所にドラッグ&ドロップ



場面切り替えの設定(2)

- 切り替えを表示させる時間の調整
 - 切り替えのマークをダブルクリックして時間を設定



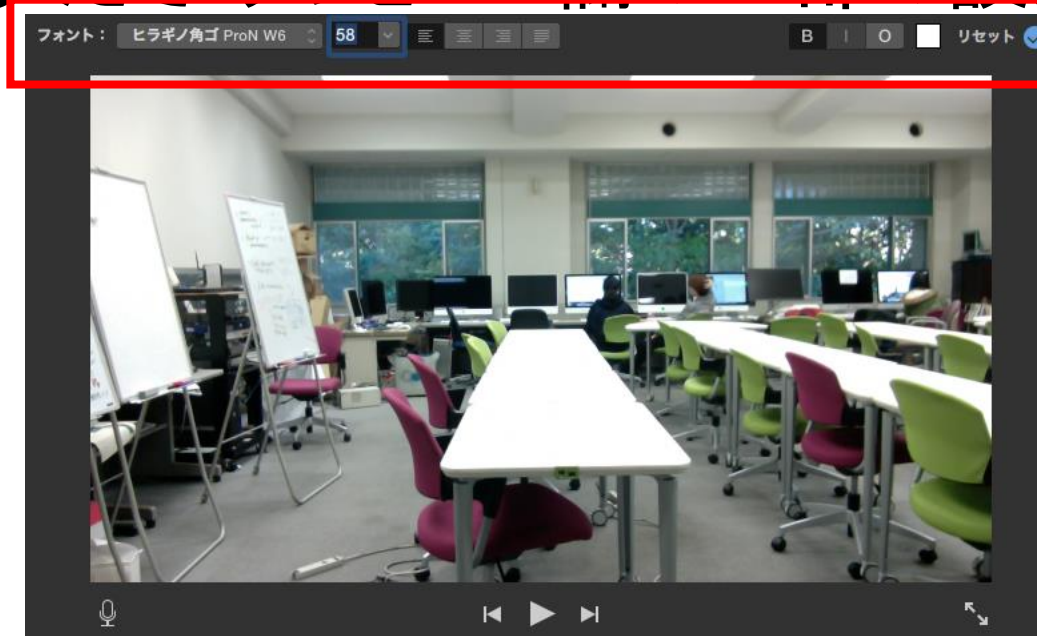
テロップの挿入(1)

- メニューバーの「ウィンドウ」→「コンテンツウィンドウ」→「タイトル」を選択
 - ソースの領域に、テロップの入れ方のリストが表示
- テロップの入れ方を選択してプロジェクトライブラリにドラッグ&ドロップ
- 内容をプレビューの欄で入力



テロップの挿入(2)

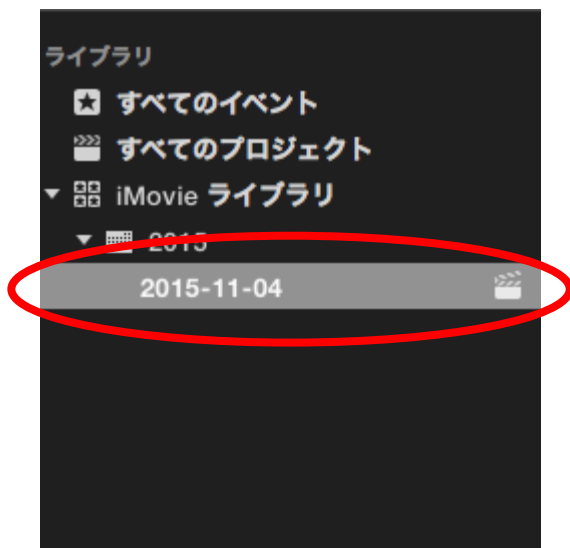
- 文字のフォントや大きさ: プレビュー欄の上部の設定欄で設定



- テロップ表示のタイミングと長さ
 - テロップのマークをクリック
 - テロップのマークが黄色い枠線で囲まれる
 - 黄色い枠線の左端・右端をドラッグしてタイミングと長さを調整

ソースの表示

- コンテンツライブラリからソースの表示に戻るには
 - 左の「ライブラリ」の中のプロジェクト名をクリック



編集結果の保存

○編集したものは、保存の操作をしなくても保存がされるはず...

but

調子が悪くなって強制終了になった場合には、保存されていないことも...

「iMovie」→「終了」でiMovieを終了すると、編集内容が保存されるので、時々保存をするようにしよう!

作品提出のしかた

発表のしかた

- DVDを作ってそのDVDを再生する
 - DVDプレイヤーで再生可能なDVD
 - コンピュータに入れると、DVDプレイヤーが起動して再生するDVD
 - iDVDやWindows DVDメーカーで可能
- 大学のWebページで公開する(学内公開でOK)
- YouTubeで公開する
- USBメモリなどで、動画ファイルそのものを持ってくる
 - ただし、最も簡単なので評価は低

その1: DVDを作る

- iDVDやWindows DVDメーカーで可能
 - MMLではだいたいのコンピュータでも作成可能
- DVDのメディアは購買センターや電気屋さんにあります

DVDメディアを買うときの注意: DVDメディアは、「DVD-R」を買うこと

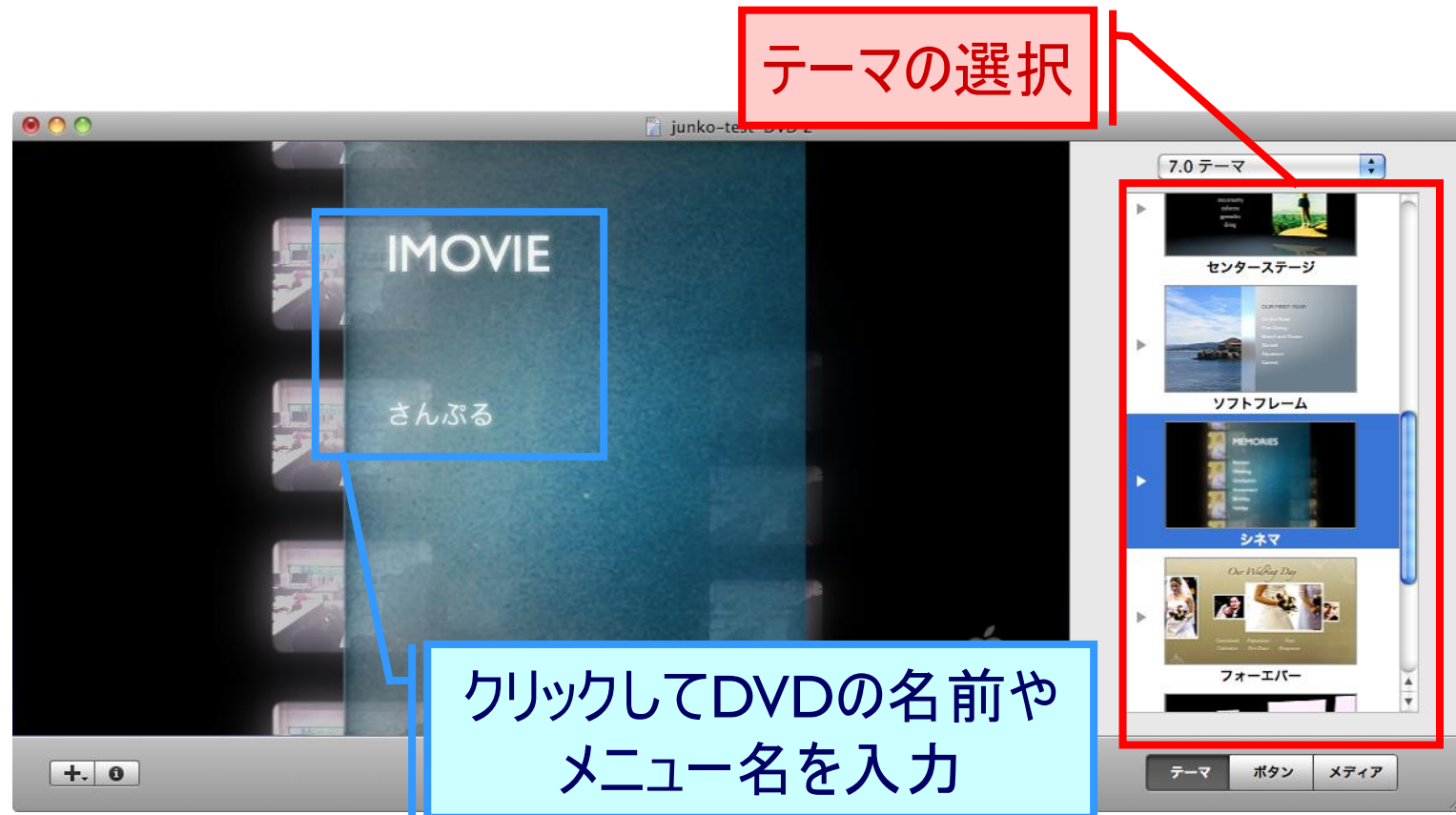
➤DVDメディアには、「DVD-R」、「DVD+R」、「DVD-RAM」の3種類あり(RWも×)

iDVD(I)

- iMovieで、メニューバーの「ファイル」→「共有」→「ファイル」をクリックして一旦動画ファイルとして保存
 - 解像度と品質を設定
- iDVDを起動

iDVD(2)

- iDVDの右側のテーマ一覧から、DVDのメインメニューを選択
- 左側にテーマが適用されるので、DVDの名前やメニュー名を入力
 - 文字の部分をクリックすると入力可能になる



iDVD(3)

- iDVDのメニューバーの「ファイル」→「読み込み」→「ビデオ」を選択
- iMovieで保存した動画ファイルを選択
- DVD-Rを入れ、iDVDのメニューバーの「ファイル」→「DVDを作成」で作成開始

DVD作成の注意

- 「DVDを作る」とは、「DVDプレイヤーで再生できるDVDを作る」という意味
 - PCにDVDを入れたら、DVDプレイヤーが起動して動画が再生されるようにしておくこと
 - 動画ファイルをDVD-RやDVD+Rなどに焼いただけのものは「DVDを作った」とはみなせないで注意

- Macでデスクトップ上のDVDのアイコンをダブルクリックしてFinderが開く場合
(Finderの中のファイルをダブルクリックすると再生が始まる場合)
- Windowsで、マイコンピュータの中のDVDのアイコンをダブルクリックすると、その中に動画のファイルがあり、そのファイルをダブルクリックすると再生が始まる、という場合

これは単に動画をファイルとして保存することなのでNG

その2: Webページで公開する(1)

1. 動画作品をファイルに保存する
 - i. メニューバーの「共有」→「ファイル」を選択
 - ii. 解像度と品質を設定て保存
2. 保存したファイルを情報処理教室に送る
 - USBメモリなどに保存して持っていく
 - メールに添付して送るのは難しい(ファイルサイズが大きすぎる)

その2: Webページで公開する(2)

○HTMLファイルで、

```
<object classid="clsid:02BF25D5-8C17-4B23-BC80-D3488ABDDC6B"  
  codebase="http://www.apple.com/qtactivex/qtplugin.cab"  
  width=" 横幅" height=" 縦幅">  
  <param name="src" value=" 動画のファイル名" />  
  <param name="autoplay" value="trueまたはfalse" />  
  <param name="controller" value="trueまたはfalse" />  
  <param name="pluginspage"  
    value="http://www.apple.com/quicktime/download/" />  
</object>
```

というタグを書く

その2: Webページで公開する(3)

- width, height: 表示する横と縦の大きさ(ピクセル)
- autoplay: Webページが表示されたら、自動的に動画を再生するかどうか(trueが再生する, falseが再生しない)
- controller: 再生ボタンやストップボタンなども表示するかどうか(trueが表示する、falseが表示しない)

その3:YouTubeで公開する

1. メニューバーの「共有」→「YouTube」を選択
2. サイズ・カテゴリ・プライバシー(公開・限定公開・非公開)を設定
 - 公開: 全世界の誰でもその動画を見ることができる
 - 限定公開: 動画のURLを知っている人だけ見ることができる
 - 非公開: 動画所有者が設定した人だけ見ることができる
3. YouTubeのアカウントを入力して公開
 - YouTubeにログイン後、「マイチャンネル」内の「動画」の欄に公開されている

Web公開(YouTubeを含む)の注意

○著作権や肖像権をきちんと守ること

- 著作物(書籍・雑誌・ポスターなど)が作品中に映り込んでいないか?
- 音楽や効果音の使い方は問題ないか?
 - 市販の音楽などをバックグラウンドミュージックに使っていないか?
- 映り込んでいる人に、Web公開の許可を取ったか?

私的利用であれば問題にはならない

➤ Web公開は、私的利用の範囲に入らない

○YouTube: 公開範囲は必ず確認すること

- 初期設定は「**公開**」(つまり全世界誰でも見ることができる)の設定

参考: 情報処理教室にファイル送信

情報処理教室にファイル送信

- USBメモリを使う
- メールに添付して送信
 - サイズが大きすぎると送れないので注意

USBメモリの利用(Ⅰ)

- PCについている、「USB」という口に差し込んで使う記憶装置
- iMacのキーボードや本体の全面・背面などのUSBの口に差し込んで利用可能
 - 情報処理教室のどのコンピュータでも使える
 - MMLでも、どのMacでも使える
- 購買で購入可能

USBメモリの利用(2)

- USBメモリをUSBの口に挿す
 - 白い箱のアイコンがデスクトップ上に出てくる 
 - このアイコンをダブルクリックすると、Finderが開くので、ファイルを保存できる
 - USBメモリにファイルを保存したら、白い箱のアイコンをゴミ箱の上にドラッグ&ドロップする
 - ゴミ箱が「▲」の絵になる)
 - 白い箱の絵が消えたら、USBメモリ取り出してOK
- ※この作業をせずに取り出せば、USBメモリが壊れることもある

作品発表に向けて

○作品を作るうえで、かきのものをまとめておくこと

1. 工夫したこと
2. うまくできたところ
3. 苦労したこと
4. 感想と反省点

○提出物

○DVDを作った場合: DVD

形式は自由(ただし電子データで)

○Web公開(YouTube含む)の場合: 作品のURLを報告

○ストーリー・演出の計画の文書

○計画と実際の作品との相違点をまとめたもの

○上記1.～4.をまとめたもの

今後のスケジュール

- 11月13日:VERA祭準備のため休講
- 11月20日:作品発表(9302教室)